



かけ橋

秋田県立能代養護学校

No. 55 H28. 3. 7



「共生社会」に向けて

能代養護学校長 志渡 裕

「共生社会」という言葉を、少しずつ聞きする機会が増えてきたような気がします。果たして、「共生社会」とは、いったいどんな社会なのか。その具体的な姿をイメージできる人はどのくらいいるのか。また、イメージできているのはどんな人たちなのか。

私の描く「共生社会」は、どこか輪郭のはっきりしないあいまいなものにすぎません。強い自信に満ちた筆致で、生き生きと描くことができたなら、自身の想像力のなさがっかりしてしまいます。

ところで、我が国は、「障害者の権利に関する条約」を批准しました。この条約は、2014年2月19日より効力が生じています。国は、「共生社会」とは次のようなものとしています。

これまで、必ずしも十分に社会参加できなかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々が多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会を「共生社会」としています。

そして、この「共生社会」の実現を、最重要課題の一つに位置づけており、「共生社会」の形成には、教育が極めて重要な役割を果たすとし、障害のある子どもと同世代の子どもたちが、障害のある子どもと遊ぶ中で、同じ社会に生きる人間として、互いを理解し合い、支え合って生きる大切さに触れています。

まとめると、「共生社会」の形成には教育が大切であり、それは、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ仕組み（インクルーシブ教育システム）の構築が必要であるということです。

このような流れの中で、今年度、本校小・中学部の児童生徒は、能代山本地区14の小・中学校と交流及び共同学習（居住地校交流）を行いました。さらに、能代市教育委員会と能代養護学校（平成28年4月、能代支援学校へと校名変更）は、「交流及び共同学習（居住地校交流）ガイドブック（共編）」を作成し、平成28年4月に能代市の各小・中学校に配布となります。現在と未来の「共生社会」に向けて、皆で力を合わせて進んでいけることを願っています。

仲間と共に ～ 中学部の居住地校交流

本校中学部では、平成 25 年度より居住地校交流を始めました。初年度は1校からスタートしましたが、今年度は地域の4校と、6名が実施できました。今年度の居住地校交流の様子について御紹介します。



能代第一中学校 夏の終わりを飾る能代の祭「おなごりフェスティバル」での中若（城郭灯籠）運行に2名が参加しました。横断幕や田楽を持ち、約5キロの行程を練り歩きました。大勢の観客が見守る中、能代一中の仲間たちや先生方、保護者の皆様の声掛けと励ましにより、堂々と最後まで頑張りぬくことができました。

琴丘中学校との交流は3年目。これまでスーパーマーケットでの職場体験、保育所訪問や地域清掃を積み重ね、今年度は地域の老人ホーム慰問をしました。会を重ねて自分から仲間に話し掛けることも多くなり、地域に住む中学生の一員として力を発揮することができました。

琴丘中学校



山本中学校 資源回収やなべっこ、クアオルト体験をしました。普段から関わりのある地元の仲間たちが一緒にいることで、時には助け合い、時には力を合わせて活動することができました。たくさんの活動と一緒に取り組むことができ、笑顔あふれる交流となりました。

東雲中学校の学校祭「東雲祭」の参観、そして冬の一大行事である「雪中綱引き・強歩大会」に参加しました。「たかぼう！元気にしてらが！」同じ地域に住む仲間たちに温かく迎えられました。綱引きでは仲間の名前を呼んで応援し、強歩大会では東雲中の生徒や先生方、保護者や地域の方々にもたくさんの応援をいただきました。

東雲中学校



実施に当たっては、各中学校の先生方をはじめ、保護者の皆様にも御協力と励ましをいただきました。そして、中学校生徒の皆さんからの関わりも一緒に学び、活動するエネルギーとなりました。同じ地域に住む仲間として共に学び、共に育ち合う。能代・山本はそんな温かさのあふれる地域です。

ガイドブックを作りました

居住地校交流を実施する時に参考にしてもらうために、ガイドブックを作りました。能代市教育委員会からも御理解いただき、小・中学校と連携して取り組もうという趣旨で作りました。

これまでの取組で得た成果や課題を見直し、小・中学校の職員や児童生徒の声を聞きながら作成しました。今後、能代山本地区のすべての小・中学校に配布予定です。

平成28年度、このガイドブックも活用して、成果を取り入れ、交流及び共同学習をよりよいものへと充実させていく予定です。

お問い合わせ
ご連絡は…

教頭 鈴木 幸子
特別支援教育コーディネーター 高橋 聡 泉 裕子 地域支援部（かけ橋担当）高橋 渉

TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681
HP <http://www.noshiro-s.akita-pref.ed.jp>
E-mail noshiro-s@akita-pref.ed.jp

本校ホームページの地域
支援部コーナーもご覧ください

